

平成29年度の学校運営

1 学校教育目標

「豊かな心をもち 主体的に活動する児童の育成」

○よく考える子 ○助け合う子 ○心も体も元気な子

2 本年度の重点目標

「目当てをしっかりともち、他と関わりながら自分の力を伸ばしていく子供の育成」

- ① 深め合う学び … (知) 考えを伝え合い、ともに伸びていく学習
- ② 信じ合う心 … (徳) 相手の立場や気持ちを考えた行動
- ③ 鍛え合う仲間 … (体) 強い心、たくましい体、よりよい生活習慣

3 学校運営の方針

- (1) 全ての子供が互いのよさを認め、目標に向かって学ぶことができる学校づくり
 - ① ユニバーサルデザインの視点に立ち、個に応じた支援を行い、子供たちが「分かる」「できた」「やってみよう」と思える授業づくりに努める。
 - ② 相手の立場や気持ちを考えた行動ができるように「道德教育」の充実を図る。
 - ③ 一人一人が活躍できる多様な活動の場を工夫し、自己存在感や自己有用感を感じることができるようにする。
 - ④ 危機管理意識をしっかりともち、安心・安全な学校環境づくりを進める。
- (2) 教職員が一つのチームとなって力を合わせる学校づくり
 - ① 全教育活動にチームで取り組む体制を整え、全ての子供を全ての教職員で見守り、支援していく。
 - ② 一つ一つの活動のねらいやゴールの姿を明確にし、手立てや評価の方法を共通理解して取り組む。
 - ③ 教職員各々の専門性や個性を生かして、協働的に教育活動に取り組む。
- (3) 家庭や地域社会から信頼される学校づくり
 - ① 伏木の歴史や風土、自然や人情を生かした学習活動を推進し、伏木を誇りに思い、進んで地域の活動に参加できる子供を育てる。
 - ② 教育活動の様子や成果を積極的に発信、公開し、地域社会に開かれた学校を目指す。